

富山市SDGs未来都市について

富山市SDGs未来都市の全体概要（将来ビジョン・取組・普及展開）

将来ビジョン

2030年のあるべき姿	優先的にとり上げるSDGs目標
【目指す将来像】コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現	目標11：まちづくり 目標17：パートナーシップ
・ 経済価値： 市内企業の活性化や新技術の活用等により、持続可能な付加価値を創造し続けるまち	目標 9：産業・技術革新
・ 社会価値： 健康・医療、子育て・教育環境の充実等により、一人ひとりが個性を発揮し、活力あるまち	目標 3：健康・福祉
・ 環境価値： 低炭素・エネルギーの有効利用等により、雄大な自然と調和し、誰もが暮らしたいまち	目標 7：エネルギー

自治体SDGsの推進に資する取組

【取組概要】

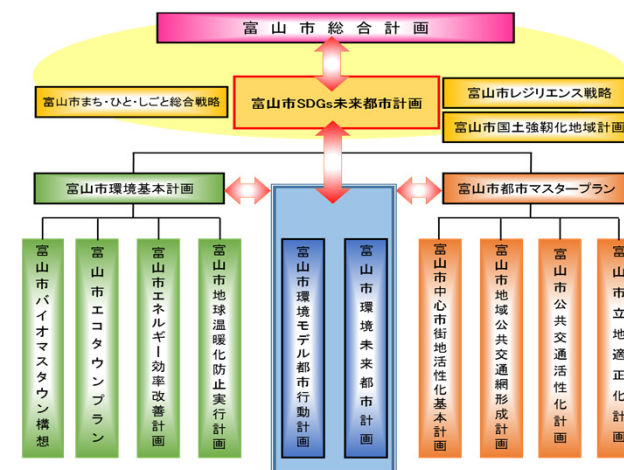
- ①都市のかたち：公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの実現
地域生活拠点とのネットワーク機能を高める「コンパクトシティ」へ
- ②市民生活：ヘルシー＆交流シティの形成と質の高いライフ・ワークスタイルの確立
地域が一体となり健康・子育て・教育環境を充実させる「ヘルシー＆交流シティ」へ
- ③エネルギー：セーフ＆環境スマートシティの実現と地域エネルギーマネジメントの確立
レジリエンスと低炭素化等の取組の融合による「セーフ＆環境スマートシティ」へ
- ④産業：産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造
市内企業の活性化や新技術の活用等による「技術・社会イノベーション創造都市」へ
- ⑤都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上
官民連携・ダイバーシティ・国際展開による都市ブランド力を高めた「選ばれる都市」へ

【情報発信・普及啓発、モデル事業の普及展開】

モデル事業の普及展開は、国際機関、国内自治体との連携により、地方都市に適用可能なモデル形成を先導。

（方策）

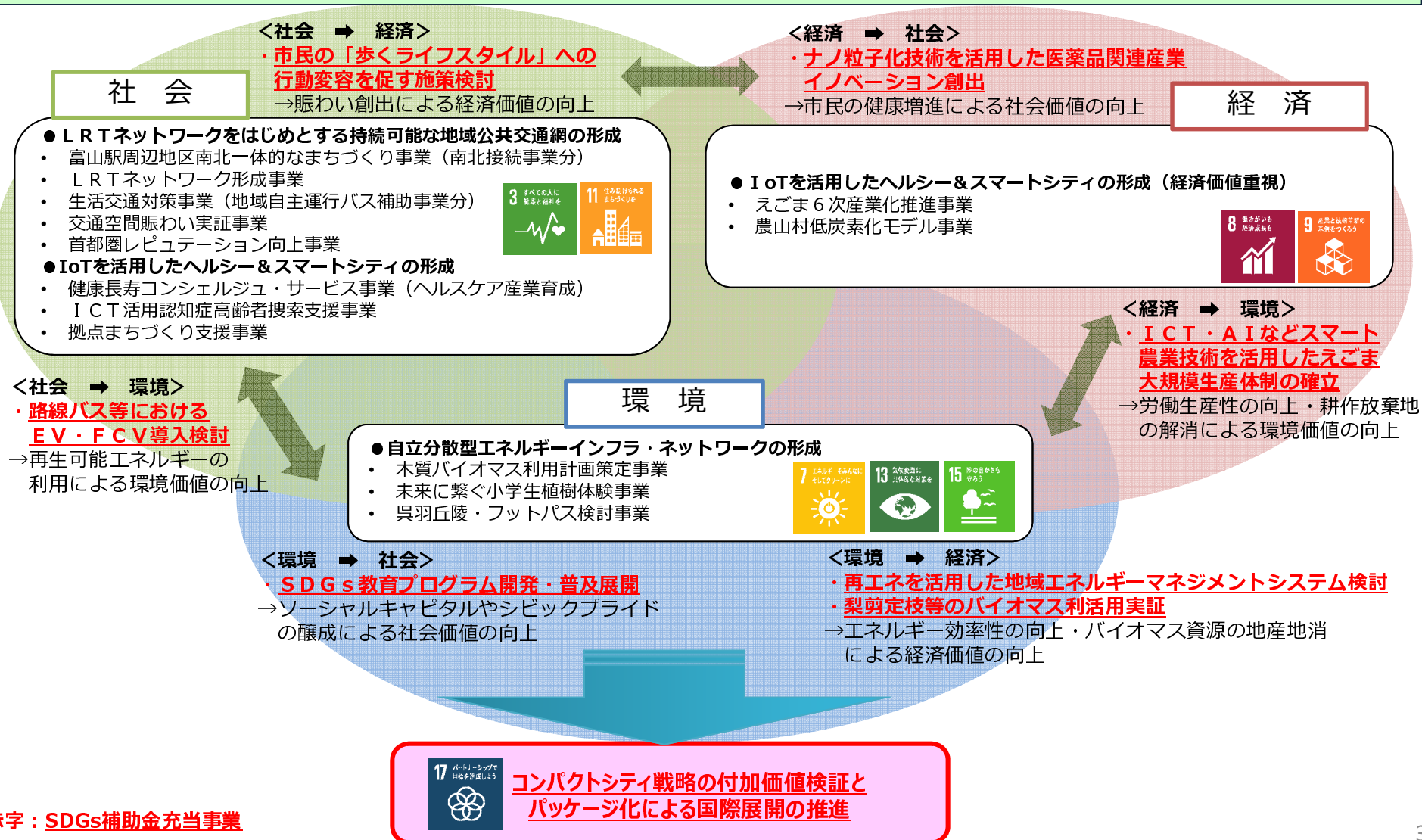
- ・ 国際ネットワーク（世界銀行、JICA、イクレイ、ロックフェラー財団等）との連携
- ・ 環境モデル都市や環境未来都市の取組における産学官民連携基盤（コンソーシアム）の活用
- ・ 市民・企業への普及啓発を目的とした「富山市SDGs推進フォーラム」の開催
- ・ のりもの語り教育や、各種環境教育プログラムを融合した「SDGs教育」の実施



富山市SDGs未来都市モデル事業

取組内容：LRTネットワークと自立分散型エネルギーマネジメントの融合によるコンパクトシティの深化

本市がこれまで進めてきたLRTネットワークをはじめとする公共交通活性化施策に加え、再生可能エネルギー等の地域資源の地産地消を達成する自立分散型エネルギーマネジメントとを融合させることにより、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを深化させ、技術・社会イノベーションを創出し、持続可能な付加価値創造都市を目指す。



富山市SDGs未来都市の全体概要（推進体制）

取組の実施可能性・推進体制

- 「富山市SDGs未来都市計画」を策定し、関連事業を推進するとともに、総合計画、環境基本計画等の計画の改訂時にSDGsを反映
- 「富山市SDGs未来都市戦略会議」を設置し、ワーキンググループに個別プロジェクトを位置付け、P D C Aサイクルを実施。
- 庁内組織で構成する「富山市SDGs未来都市推進本部」を発足し、SDGs未来都市戦略会議との連携を図る。また、課題別タスクフォースで出された政策アイデアをSDGs個別プロジェクトに反映。
- 国内外の都市・関係機関とのネットワークを活かし、地方都市モデルを世界に発信

